
色々雑談部屋

紀葉

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

色々雑談部屋

【著者名】

紀葉

【ISBN】

9788624

【あらすじ】

紀葉とドンキーが色々と雑談します。

質問に答えたり、ゲストを招くこともあるかも？
リクエストも受付中！

初めに（前書き）

ひとつあえず説明をば。

初めて

紀葉「どうも」とひと言。『普通で普通じゃなく日常』の主人公であり、同作品で作者の一一番のお気に入りのキャラのハ木紀葉です。

ドンキー「ドンキー」 ongoing series の主人公で、作者の嫁を超越した何かのドンキー ロングです。」

紀葉「えーっとこれはですね、私達がいろいろお話をしたり質問に答えるといつ趣向のものなんですけどね…。」「

ドンキー「この企画長く続きそうにならないな…。」

紀葉「やつこい」と言つたよ…。」

ドンキー「で、今回は何するんだ?」

紀葉「ちよつと募集したいものを言つよ。」

・質問

作者についてでも、キャラについてでも構いません。

・意見

どんな意見でもおkeeです。

・リクエスト

何か書いてほしいものがあれば。

紀葉「こんなもんか。」

ドンキー「靈感あるのか?」

紀葉「言つた。とつあえず、何かあれば」わの感想に送つてください。
い。」

ドンキー「まあ無くても何かしら書くから大丈夫だけじな。」

紀葉「では今回は」れで。さよーなら。」

初めに（後書き）

ご意見、待っています！

第一回（前書き）

「ジンキー 「おー、紀葉、本番…あれ?」」
「あー?」

「ジンキー 「うわっ、ビルワードー!」」

「紀葉 「これがホントのびっくつジンキーwwwwww」」

第一回

紀葉「えいせん。紀葉です~。」

ジンキー「ジンキーでーす。」

紀葉「わいわいが眞面目に答えよいー。」

ジンキー「来たのかー?」

紀葉「来たよ。」

ジンキー「マジド?」

紀葉「マジです。ではわいわい…カルピスフローティングキーワード質問」

ジンキー「俺?」

紀葉「作者とバナナならじつが好き~とのことです。」

ジンキー「バナナに決まってんだりっこ。」

紀葉「ですよね~~」

作者涙田。

ジンキー「紀葉ならひよつと感心だかも…。」

紀葉「へつ？」

ドンキー「でもバナナ。」

紀葉「やつぱりな…。まあ次の質問行くぞ。」

ドンキー「まだあるのか…。」

紀葉「うん。阪神虎之介さんから作者に質問。」

ドンキー「作者にか。」

紀葉「なんで『普通で普通じゃな』『日常』を書いひと題つた?…とのことだ。」

ドンキー「なんか理由あるのか…?」

紀葉「作者の『メント』。『実は中1の頃から普通(ヽヽみみたいな話を脳内で繰り広げていて、小説家になろうつを見つけているんな人の小説を読んで、せつかくだからこの物語を小説にしちゃうか!』といふノリで書き始めました。ちなみに、最初は紀葉、千樹、杉助、桜太郎、百合の五人で行こうとしてました。』…とのこと。」

ドンキー「中1なのに中2病か。」

紀葉「誰つまwwwよし、次ーー！」

ドンキー「おーっ。」

紀葉「竜斗さんから作者に質問。」

ドンキー「また作者か…。」

紀葉「リリカルなのはは知つてますか? 知つてたらお気に入りのキャラは誰ですか? と…。」

ドンキー「あのアニメか…。」

紀葉「作者のコメント。『リリカルなのはは知つてますよ~。まあ一二二二二から得た知識が六割ですけどねwwwお気に入りのキャラはなのはです。ちなみに嫌いなのはもちろんクソ赤帽ですwww』とのこと。」

ドンキー「クソ赤帽ってヴィータのことか。確かにあいつ逃走中とかで問題行動起こしまくりだもんな。」

紀葉「ホントだよね…。死ねばいいのに…。」

ドンキー「まだあるか? 質問。」

紀葉「うん。じゃあんから作者に質問。」

ドンキー「作者への質問多いな!」

紀葉「スマブラメンバーで一番好きなキャラ…はドンキーだと思つので、一番嫌いなキャラは? だって。」

ドンキー「俺のこと好きつて書つわつとは俺のことあるまい使ってないだろ作者。」

紀葉「作者曰わく、パワータイプや重量級のキャラは使こずりこんだって。」

ダンキー「練習じりみー。」

紀葉「まあそれはおいといて。」

ダンキー「おこどくのかよー!?」

紀葉「作者の『メン』。『ガノンデロフ』です。すんごい使いやすい。使いたくもない。見た目も好きになれない。リアルなおっさんは基本的に全員そうだけど。あと垂直のあれ見てもただの外道だし。悪いイメージばかり。』…らしご。」

ダンキー「俺もガノンの野郎は嫌いだぜ。垂直の使者の件でロボットの仲間に垂直爆弾を無理やり起動させたり、ロボットを攻撃させたり、ロボットかわいそつてもんじゃなかつたぜ…。」

紀葉「ダンキー…。」

ダンキー「事件の後ボロボロにしたかったけどな。」

紀葉「あ、やつぱつ?」

ダンキー「やつややつだ。」

紀葉「ふーん…ねつて、やつやつ時間だね。」

ダンキー「おお、今回まじめだか。」

紀葉「まだまだ質問受け付けてますよー。」

ドンキー「作者、俺、紀葉以外にでもあります。」

紀葉「それでは嘘をさ、」機嫌よつてよーなひー。

第1回（後書き）

予想以上にたくさん来て良かつたです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8862y/>

色々雑談部屋

2011年11月27日16時52分発行